



SDGs（持続可能な開発目標）と 今後の支援活動について

2017年7月22日

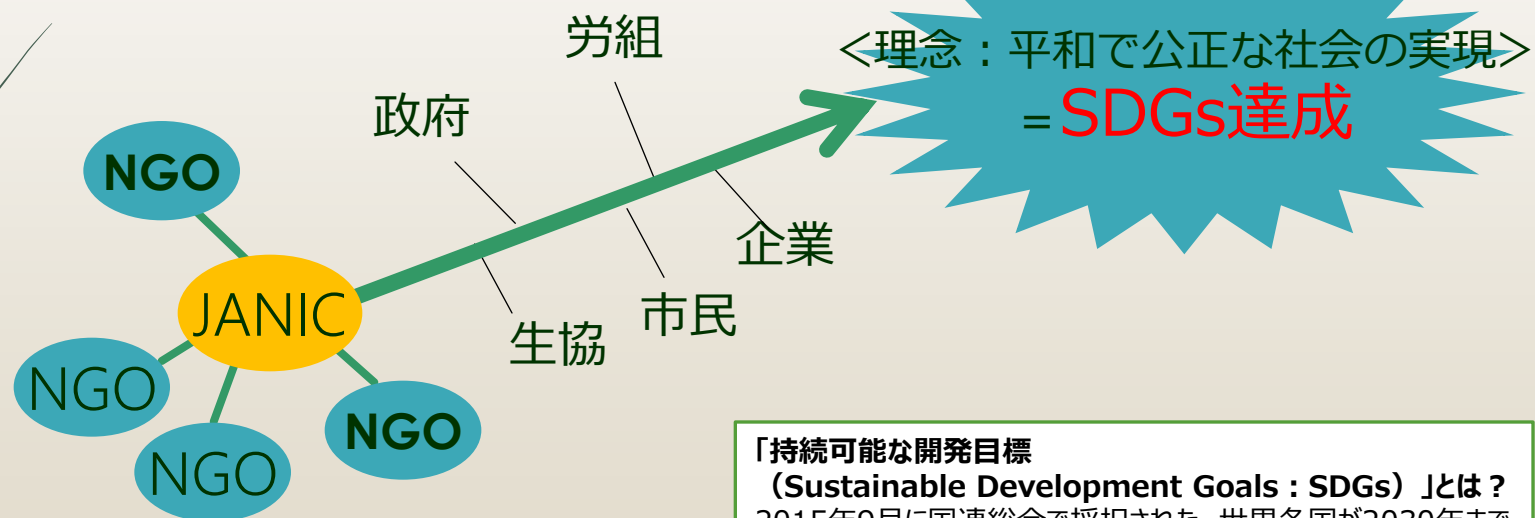
認定NPO法人 国際協力NGOセンター（JANIC）

事務局長 若林 秀樹

国際協力NGOセンター (JANIC)



私たち国際協力NGOセンター (JANIC) は、国内外で活動するNGO同士のつながりを深め、政府や企業など他セクターとの協力を進め、NGOの力を最大化するためにさまざまな支援活動を行っています。



正会員 (NGO) : 110団体
協力会員 : 団体63団体、企業 : 41社、個人 : 128名
* 会員以外のNGO・NPO、政府・自治体等との連携実績多数

「持続可能な開発目標

(Sustainable Development Goals : SDGs) 」とは？
2015年9月に国連総会で採択された、世界各国が2030年まで取り組むべき目標。経済・社会・環境の3要素から成る**17の目標と169のターゲット**から構成。

JANICは、**SDGs市民社会ネットワークの共同代表世話人**をつとめ、日本の幅広いNGO/NPOの声を集め、政府に届けていく役割を担っています。

講演の流れ

- ➡ **自己紹介：**現職）国際協力NGOセンター（JANIC）事務局長、グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン理事
ヤマハ株、労組（単組・産別）、在米大日本大使館書記官（ODA担当）、参議院議員、米シンクタンク（CSIS）、アムネスティ日本事務局長
- ➡ **JANICとは**
- ➡ **持続不可能な世界へ、それがSDGs**
- ➡ **SDGsの特徴**
- ➡ **社会課題の解決と支援活動ーNGOとの協働**
- ➡ **具体的な取り組み事例の紹介**
- ➡ **おわりに**

今、世界で起こっていること

- とてつもない貧困生活を送っている人は5人にひとり
- まだ食べられるのに、たくさん食べられる食べ物が捨てられている（フードロス大国日本、3分の1が捨てられている）
- 貧困や紛争のため、学校に通えない子どもたち（5800万人が未就学）
- 働かされる、子どもたち（1億6800万人の児童労働）
- すごくお金持ちの人たちと、すごく貧しい人たちの差が激しい
（世界で最も裕福な62人の資産は、貧しい36億人の資産に匹敵）
（世界の富の半数は、1%の富裕者層が所持）
- 豊かな国に住んでいる人は、暮らし方を変える必要がある
（世界中の人が先進国の暮らし方をすると、地球が2.3個必要）

地球温暖化は待ったなし

- 国連（IPCC）報告では、「今後100年で、最大6.4度の気温上昇」、つまりこれまでの100年間に比べて10倍以上の気温上昇が予測
- 森林の消滅や生物種の絶滅。50年後にはアマゾンの森林は砂漠化するとの予測（英政府報告）
- 気温上昇により海面が数上昇。バングラデシュ、モルジブなど数十カ国で国土の大半が水没。日本でも海面がおよそ1メートル上昇するだけでも、水没域の東京、大阪など都市部を中心に90兆円以上の資産が失われる。

史上最悪の難民危機



2015年世界で家を追われた人: 約6530万人
難民: 約2,130万人、避難された人: 毎分24人
シリア人口2300万人、難民400万人、
国内避難民760万人、2人に1人が家を離れる

この15年間の国際的な環境の変化

➡ 「持続可能な開発」の重要性

環境問題・気候変動問題、自然災害の多発

➡ 格差の拡大

「途上国」間の差、一つの国の中の貧富の拡大

➡ アクターの多様化

企業や市民社会の役割の拡大

国連「持続可能な開発目標 (SDGs)」



- 2015年9月、「国連持続可能な開発サミット」で「アジェンダ2030」を全会一致で採択。
- 人間、地球および繁栄のための行動計画。17の目標と169のターゲットを含む。
- 国連加盟国は、2015年から2030年までに、貧困や飢餓、エネルギー、気候変動、平和的社会など、各目標の達成をめざす。
- ビジネス・セクターと、市民社会、政府などさまざまなセクターの連携が重要。

ハイレベル政治フォーラム

自発的国別レビュー (2017.7.10~19)



HIGH-LEVEL POLITICAL FORUM ON SUSTAINABLE DEVELOPMENT

UNITED NATIONS CENTRAL PLATFORM FOR FOLLOW-UP AND
REVIEW OF THE 2030 AGENDA FOR SUSTAINABLE DEVELOPMENT
AND THE SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

[SUSTAINABLEDEVELOPMENT.UN.ORG](https://sustainabledevelopment.un.org) | #SDGs | #HLPF



今から13年後。

2030年の世界は？

**持続不可能な世界から
持続可能な世界へ**

**持続可能な開発目標（SDGs）の達成
「誰一人取り残さない」
“Leaving no one behind”**

ほぼすべての社会課題に対応



SDGs 17の目標①



1. 貧困をなくそう



4. 質の高い教育をみんなに



2. 飢餓をゼロに



5. ジェンダー平等を実現しよう



3. すべての人に健康と福祉を



6. 安全な水とトイレを世界中に

SDGs 17の目標②

7 AFFORDABLE AND
CLEAN ENERGY



7.エネルギーをみ
んなに そしてク
リーンに

10 REDUCED
INEQUALITIES



10.人や国の不
平等を
なくそう

8 DECENT WORK AND
ECONOMIC GROWTH



8.働きがいも
経済成長も

11 SUSTAINABLE CITIES
AND COMMUNITIES



11.住み続けられるま
ちづくりを

9 INDUSTRY, INNOVATION
AND INFRASTRUCTURE



9.産業と技術革新の
基盤をつくろう

12 RESPONSIBLE
CONSUMPTION
AND PRODUCTION



12.つくる責任
つかう責任

SDGs 17の目標③

13 CLIMATE ACTION



13.気候変動に具体的な対策を

16 PEACE, JUSTICE AND STRONG INSTITUTIONS



16.平和と公正をすべての人に

14 LIFE BELOW WATER



14.海の豊かさを守ろう

17 PARTNERSHIPS FOR THE GOALS



17.パートナーシップで目標を達成しよう

15 LIFE ON LAND



15.陸の豊かさも守ろう



日本語訳作成:
国連広報センター /
博報堂

経済・社会・環境の連関



先進国も途上国も取り組む



あらゆる関係者（ステークホルダー） が取り組む



SDGsの特徴その⑤

すべての人びとの人権の実現 Leaving no one behind



日本の8つの優先課題

1. あらゆる人々の活躍の推進（教育、障害者の自立、女性他）
2. 健康長寿の推進（感染症対策、保健システムの強化、公衆衛生危機への対応、アジア高齢化への対応）
3. 成長市場の創出、地域活性化、科学技術のイノベーション（持続可能な都市）
4. 持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備（水資源開発、水循環）
5. 省・再生可能エネ、気候変動対策、循環型社会（同左）
6. 生物多様性、森林、海洋等の環境の保全（同左）
7. 平和と安全・安心社会の実現（法の支配、復興支援、児童虐待）
8. SDGs実施推進の体制と手段（国際協力におけるSDGsの主流化）

- ◆ 企業は、まず**社会的な課題を知り**、それら社会課題の解決に向けて**社会が企業に期待することを知り**、その**期待に応えるために多様なステークホルダーと連携・協働**することが求められている。
- ◆ **社会課題の解決**には、社会貢献活動として取り組む場合もあれば、本業（ビジネス）を通じて取り組む場合もある。

マルチ・ステークホルダーで取り組む 「持続可能な社会」の実現

持続可能な社会

持続可能な開発目標（SDGs）



THE GLOBAL GOALS
For Sustainable Development

Goal 17 : 目標達成に向けたパートナーシップ

国際機関

途上国政府

先進国政府

開発援助機関

自治体

労働組合

他の組織・機関

企業

×

NGO・NPO

地域住民

市民

「持続可能な社会の実現に向けた**地球規模の社会課題**
解決を目的として、お互いの**特性**を認識し、**資源**や**能力**
等を持ち寄り、**対等な立場**で協力して活動すること」

連携は目的達成のための「**手段**」であって、
連携そのものが「**目的**」であってはならない

社員参加型について

◆社員参加型とは

- ➡社員が自ら手を動かし、参加して行う社会貢献活動のこと

◆社員参加型事例

- ➡1：ステナイ生活（株式会社ジャトコ）
- ➡JANICの例
- ➡2：絵本を届ける運動（豊田通商株式会社）

① ステナイ生活（株式会社ジャトコ）

ステナイ生活とは

- ・（特活）シャプラニール＝市民により海外協力の会が実施している、不要品を捨てずに国際協力へ活かす新しいライフスタイル。書き損じはがきや切手、不要になった本、CD、DVD、ゲームソフトなどを集め、換金したお金がシャプラニールの活動への寄付になるシステム。
- ・ジャトコの全マネージャー500名が集まる機会に合わせて「短時間での社会貢献活動参加＆動機づけ」を目的として実施。当日の参加者に、不要な本、CD、DVDなどを持ち来ってもらうように事前に連絡。パネル展示やシャプラニールの担当者からの説明会なども実施し、国際協力に対する理解促進・啓発も合わせて行った。
- ・2015年に実施したジャトコ初の試み。今後も継続していく。



ジャトコの目指すもの

＜企業理念＞

- ・使命：お客さま・クルマ文化・社会への価値の提供
- ・ビジョン：世界一のオペレーションで世界一の商品

＜良き企業市民として＞

- ・環境、教育、福祉の3分野にフォーカスし、良き企業市民として広く社会や人々に受け入れられる企業である続けることを目指す。

ジャトコが描く理想の社会像は「環境とクルマが共生できる社会」です。この環境理念の実現に向けた私たちの環境に対する取り組みが、持続可能な発展に貢献できると信じています。

JANICの場合

ご支援金は、以下の取り組みに使わせていただきます

- 1. 政策提言と啓発活動**
- 2. NGOと他セクターの連携促進**
- 3. 国際協力NGOに対する市民の認知・理解の向上**
- 4. NGOセクター全体の能力強化**



活動例：NGOの提言活動を主導 2016年5月伊勢志摩で開催されたG7サミットに合わせ、国内外のNGOとの連携を主導。G7首脳陣や世界中の市民に対して、SDGs達成に向けた具体的な取り組みのあり方について提案を行いました。

活動例：国内外の災害では、資金面と情報提供でNGOを支援 2015年4月にネパールで発生した地震では、NGOサポート募金を通じて、市民や団体からの寄付を緊急救援活動を行うNGOに配分。また、緊急救援活動を行うNGOに情報発信し、連携促進を支援しました。

私たち国際協力NGOセンター（JANIC）は、国内外で活動するNGO同士のつながりを深め、政府や労働組合、企業など他セクターとの協力を進め、NGOの力を最大化するためにさまざまな支援活動を行っています。

② 絵本を届ける活動（豊田通商株式会社）

絵本を届ける活動とは

- ・（公社）シャンティ国際ボランティア会が1999年より実施している日本の絵本に翻訳シールを貼って、カンボジア・ラオス・ミャンマーなどの地域の子どもたちに届ける活動。
- ・2007年より参加。はじめは3拠点のみで実施していたが、2014年には13拠点に増え、参加者数も3倍に増えた
- ・昼休みを使って社員の業務になるべく支障のないように配慮し、社員が参加しやすい場づくりを心掛けた。昼休みは前半にご飯を食べながら活動紹介DVDを鑑賞し、後半に絵本に翻訳シールを貼っている。
- ・母親社員に好評とのこと。



豊田通商の目指すもの

＜企業理念＞

人・社会・地球との共存共栄をはかり、豊かな社会づくりに貢献する価値創造企業を目指す。

豊田通商は『良き企業市民』として『人・社会・地球との共存共栄』を目指し、グローバルな社会貢献活動を通して、『豊かな社会づくり』に貢献します。

社員参加型のポイント

- ◆ 社員が気軽に参加できるしくみ
- ◆ 既にあるNPO・NGOのプログラムを活用
- ◆ 社員への社会貢献活動の理解促進・啓発の機会にも

寄付型について

◆寄付型とは

- 社員有志で寄付を募り、応援したいNPO・NGOの活動へ寄付する社会貢献活動のこと。会社が同額を上乗せ（マッチング・ギフト）することもある

◆寄付型事例

- ①花王ハートポケット倶楽部（花王株式会社）
- ②端数倶楽部（富士ゼロックス株式会社）
- ③社会貢献クラブ・FreeWill（株式会社リコー）

寄付型-① 花王ハートポケット倶楽部（花王株式会社）

花王ハートポケット倶楽部とは

- ・2004年に開始した花王グループ社員による社会的支援を目的としたクラブ組織。
- ・クラブの趣旨に賛同する社員が会員となり、毎月の給与から1口50円として、1口から100口の範囲で任意の金額を積み立て、よりよい社会づくりをめざし、社会課題の解決に取り組むNPO・NGO・市民団体への寄付、社会貢献活動の実施に関わる支援、広域災害発生時の緊急支援などに役立てている。
- ・寄付先や基金の使途の決定は、会員の代表である運営委員から構成される運営委員会の審議により決定する。

ハートポケット倶楽部



助成先選考会での活動説明プレゼンテーション

花王グループは、企業理念である「花王ウェイ」を基本に、時代や地域のニーズを把握し、花王の技術やノウハウ等を生かした“よきモノづくり”を通じて、社会的課題の解決に取り組み、社会のサステナビリティに貢献する。

寄付型-② 端数倶楽部（富士ゼロックス株式会社）

端数倶楽部とは

- ・富士ゼロックスで働く人々や退職者によって構成され、自発的、自主的に運営されているボランティア団体
- ・1990年に会社が組織した「社会貢献に関する検討委員会」において社会貢献活動のしくみとして生まれた。
- ・会費は、毎月の給料と各期の賞与から、『端数』（100円未満）に、個人の自由意志による『口数』（1口100円～最高99口の範囲で任意）をプラスし、給与天引きにより年間14回継続的に拠出するか、年会費（3,000円+a）を拠出する。
- ・「社会福祉」「文化・教育」「自然環境保護」「国際支援」「東日本大震災復興支援」の分野で役立てる
- ・外部に寄付をする場合は、会社から同額（マッチング・ギフト）が上乘せされる。



福祉作業所で制作された商品の詰め合わせ作業



富士ゼロックススーパーカップを観戦する子どもたち



自然観察会を開催

富士ゼロックスは、ミッションを実現していくことにより持続可能な社会の発展に貢献します。「CSRは経営そのものである」という信念のもと、現権一致でお客様の価値創造をお手伝いし、すべてのステークホルダーから信頼され愛される会社を目指します。

寄付型-③ 社会貢献クラブ・FreeWill（株式会社リコー）

社会貢献クラブ・FreeWillとは

- ・1999年1月に結成された、社員参加型の草の根支援組織。会員となった社員は、毎月の給与と賞与の端数（給与の100円未満、賞与の1,000円未満）を拠出し、集まった資金を社会貢献活動に役立てる。
- ・寄付先（社会貢献活動に寄与する団体）は、FreeWill会員から広く募集し、会員代表により構成される運営委員会での選考を経て決定される。また2007年から、社員投票によって支援先を決定する。FreeWillプロモーションも実施されている。
- ・寄付金には社員の気持ちを応援する「マッチングギフト制度」により、会社から追加支援される。



ポイント①

- 専用HPで支援先のNPO・NGOを丁寧に紹介！
- 自分の寄付がどのような活動に使われたのかよくわかる
- 報告書まで掲載！
- 団体のPRになる



ポイント②

- 寄付だけでなく、ボランティアも。
- 書き損じはがきや使用済み切手などの収集ボランティア
- 社員のモチベーションアップ&会社へのロイヤリティ向上



ポイント③

ホームページがとにかく充実！！

<http://jp.ricoh.com/kouken/freewill/>



出典：リコー社会貢献クラブ・FreeWill HPよりJANIC作成

寄付型のポイント

◆ 社員が主体的に寄付先選定や委員会などを運営

◆ 手軽に寄付が出来るシステムの構築

◆ 社員だけでなく、会社からも同額を寄付

◆ 寄付だけでなく、ボランティアなど社員参加の場にも

助成金型について

◆助成金型とは

- 行政や企業が、特定のテーマで活動するNGO/NPO に対して、プロジェクトを公募し、審査を経て助成を行う社会貢献活動

◆助成金型事例

- ①：「食と健康」国際協力ネットワークプログラム（味の素株式会社）
- ②：NPOサポートファンド（パナソニック株式会社）

助成金型-① AIN（「食と健康」国際協力ネットワーク）プログラム （味の素株式会社）

AINプログラムとは

- ・AINプログラムは、1999年の味の素KK創業90周年を機に開始した「食・栄養」分野の国際協力支援活動で、途上国のコミュニティ開発や生活の質の向上を目指し、「食・栄養」分野で課題解決に取り組むNPO・NGOや現地教育機関等を支援するもの（最長3年）
- ・国内外の団体からプロジェクトを公募し、有識者により審査、味の素グループ従業員による視察などを得て決定される。

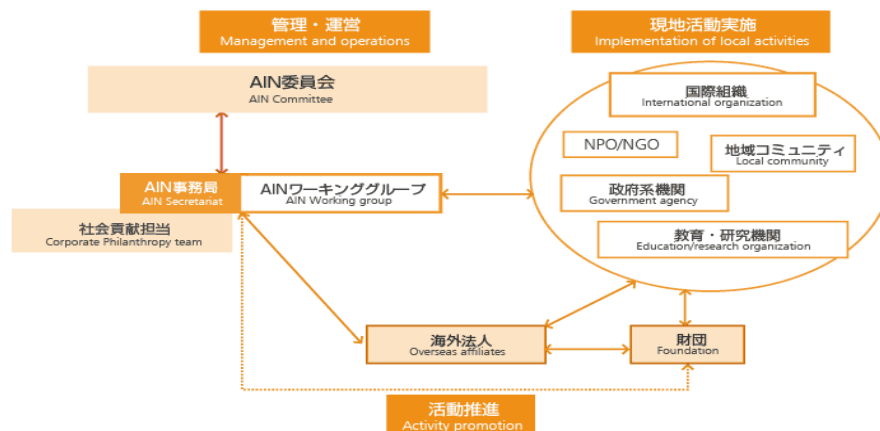
【実績】2014年度：総額20,207千円/3件
2013年度：総額31,286千円/7件
※1団体の上限3,000千円/1年間×最長3年間



2014年度までに
12カ国76事業を支援



推進体制



ポイント①

従業員が必ず現地視察

ポイント②

国際的な開発目標（MDGs/SDGs）の達成を視野に

ポイント③

事業の“インパクト”まで意識させる申請書

助成金型-② NPOサポートファンド（パナソニック株式会社）

NPOサポートファンドとは

- ・NPO・NGOが持続的に発展できるよう、国内で先進的な取り組みを展開するNPOや、新興国・途上国で活動するNGOが組織運営上の課題を解決するための「組織診断」と「組織基盤強化」を応援（最長3年）
- ・社会からNPO・NGOに寄せられる期待が大きい今、組織基盤強化の取り組みを通じて、市民活動の持続的発展、社会課題の解決促進、社会の変革に貢献することを目的としている。
- ・「環境」「子ども」「アフリカ」の3分野
- ・NPO・NGO向けに組織基盤強化ワークショップなども実施。

【実績】2014年度：総額33,994千円/ 26件
2013年度：総額32,990千円/ 24件
※1団体の上限は2,000千円、期間は1年間



ポイント

組織基盤強化を応援で他と差別化。NPO・NGOもうれしい！

パナソニックの目指すもの

<A Better Life, A Better World>

パナソニックは継続的に社会の進化に、世界中の人々の幸福に貢献する、より良い生活、より良い世界を創造していきます。

「企業は社会の公器である」

企業にとっての人材、資金、物資など、あらゆる経営資源は、すべて社会が生み出したもの。企業は、こうした資源を社会から預かり事業

活動を行っている以上、社会と共に発展し、その活動は透明で公明正大なものでなければならない。

出典：パナソニックHPよりJANIC作成

助成金型のポイント

◆その企業ならではの・だからこそ支援する分野・テーマ

◆助成先NPO・NGOの活動に社員が参加する機会も

◆長期的視野（インパクト視点）を持つ

◆外部の有識者・専門家と連携し、公平性・透明性を担保

プロボノ型について

◆プロボノ型とは

- 社員が職業上持っている知識・スキルや経験を活かして行う社会貢献活動のこと

◆プロボノ型事例

- ① : Skills to Succeed (アクセンチュア株式会社)
- ② : 伝えるコツ (株式会社電通)

プロボノ型-① Skills to Succeed (アクセンチュア株式会社)

Skills to Succeedとは

- ・事業活動を通じて培った「人材のスキルを高めるノウハウ」を生かし、コーポレート・シチズンシップ（企業市民活動）においてSkills to Succeed（スキルによる発展）と呼ぶグローバル統一のテーマに取り組んでいる。
- ・目標：2020会計年度末までに世界中で300万人に就業や起業に関わるスキル構築の機会を提供すること。
- ・高い実行力を持ったNPO法人と協力して、国や地域の実情に合わせて選択した「人材スキルの向上」に関わるさまざまな活動を推進。
- ・2010年にSkills to Succeedのプログラムを開始して以来、全世界80万人に対して就業や起業に関わるスキル構築の機会を提供。



アクセンチュアの目指すもの

＜コアバリュー＞

「スチュワードシップ」「ベスト・ピープル」「クライアント価値の創造」「ワン・グローバル・ネットワーク」「個人の尊重」「インテグリティ」

Skills to Succeedから環境スチュワードシップに至るまで、アクセンチュアのコーポレート・シチズンシップ推進への取り組みが目指すものは、真に実効性のある成果の実現です。

プロボノ型-② 伝えるコツ (株式会社電通)

伝えるコツとは

・NPOのコミュニケーション力の向上をめざし、電通の社会貢献活動の一環として、NPOとともに取り組んでいるプロジェクト。オリジナルのテキストをつくり、電通のクリエイティブスタッフを中心とした講師が、全国でセミナーを開催。

・市民社会の重要な担い手であるNPOにとって、「コミュニケーション」は組織をまとめ、理解者、協力者を広げ、より充実した活動としていくための重要なテーマ。「うまく伝える」ことがきっかけとなり、NPOの活動がもっと広がることを願って、活動をつづけている。



電通の目指すもの

<スローガン>

Good Innovation. : 新たな価値の創造と変革を導くことを希求し、企業や組織のイノベーションを支えよう

「コミュニケーション力向上を通じ人材育成を支援する」こと、「世界的社会課題に向き合う活動を支援する」こと、NPOやパートナー団体との協働を通じて、社会課題の解決に取り組み、地域社会や地球規模のコミュニティの発展に寄与する活動を目指しています。

プロボノ型まとめ

◆企業の本業を通じた支援

◆社員の会社へのロイヤリティ向上

◆将来のビジネスパートナーとしてNPO・NGOを捉える

事業型について

◆事業型とは

- BOPビジネスなど、企業の本業と近いところで社会課題解決にもつなげる事業を行うこと

◆事業型事例

- ①ガーナ栄養改善プロジェクト（味の素株式会社）
- ②インド教育支援プログラム（株式会社リコー）
- ③アジア地域に適した排水処理装置の協働開発（積水アクアシステム株式会社）

事業型-① ガーナ栄養改善プロジェクト（味の素株式会社）

ガーナ栄養改善プロジェクトとは

- ・味の素グループが創業以来積み重ねてきた、食品やアミノ酸についての膨大な知見を、開発途上国の深刻な栄養不足の問題を解決するために活かさないだろうか。その想いをソーシャルビジネスで実現することを目指して始まった。
- ・離乳食の栄養バランスを改善・強化するサプリメントの製造・販売を通じて、離乳期の子どもの栄養改善への貢献を目指す。
- ・すべての人々のいのちの基本である「食・栄養」をよりよくすることで、子どもたちの健やかな未来を拓く。
- ・2009年、味の素グループ創業100周年記念事業。
- ・ガーナ政府機関・大学をはじめ、さまざまな国際NGOや企業と連携。



味の素の目指すもの

＜味の素グループ理念＞

私たちは地球的な視野にたち、“食”と“健康”そして、“いのち”のために働き、明日のよりよい生活に貢献します。

＜味の素グループWay＞

「新しい価値の創造」 「社会への貢献」 「開拓者精神」 「人を大切にする」

「21 世紀の人類社会の課題」である、「地球持続性」「食資源」「健康な生活」を解決し、持続可能な社会の実現に事業を通じて貢献していくことが、味の素グループの企業責任である。

事業型-② インド教育支援プログラム（株式会社リコー）

インド教育支援プログラムとは

- ・教育現場をサポートする製品やサービスをお届けしているリコーだからこそできる活動で、国の発展の基盤となる教育分野に貢献したいと考え、世界で一番子どもの数が多いインドにて2011年よりセーブ・ザ・チルドレンとの協働プログラムをスタート。
- ・学校に製品・サービスとそれを活用できる環境を提供し、学習環境の改善や情報共有に役立ててもらい、同時に子どもたちや先生、地域コミュニティ、そして行政を巻き込み、学校や授業の改善に向けた働きかけを行うことで、教育関係者のネットワークの構築や教育の質の向上につなげる。
- ・第1フェーズは2011年4月～2015年3月。2015年4月から第2フェーズ開始。

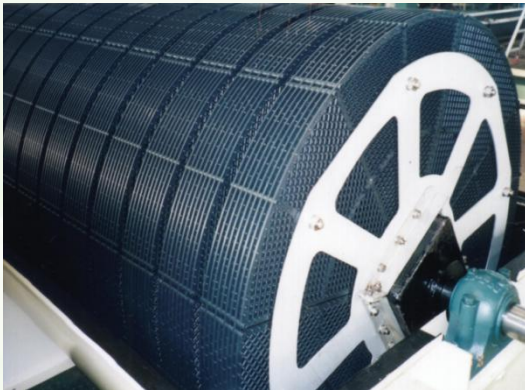


地球・社会の持続的な発展と自社のさらなる成長を目指し長期展望に基づく社会的責任経営を実践する。

事業型-③ アジア地域に適した排水処理装置の協働開発 (積水アクアシステム株式会社)

現地ニーズを捉えた共同事業

<積水アクアシステム×APEX>



- ◆ APEXはインドネシア中部ジャワ州において、水問題を水質汚濁の観点から捉え、**アジア地域に適した排水処理技術**を開発する過程で、回転円板式排水処理に着目し、**立体格子状接触体回転円板を考案した**。
- ◆ そこで、回転円板式排水処理装置では日本でトップ・シェアを持つ**積水アクアシステム**へAPEXから協働を提案し、この**立体格子状接触体回転円板（商品名「エスローテ」）の開発・製品化**において、1997年より連携を開始した。
- ◆ この**立体格子状円板**は、まず日本で製造・販売が開始され、その後**インドネシアでも製造・販売**を行うようになった。

<「地球規模の課題解決に向けた企業とNGOの連携ガイドライン Ver.3 17頁参照」>

事業型のポイント

◆ 社会課題の解決とビジネスの両立を目指した事業

◆ 多様なステークホルダーと連携しながら実施している

◆ 外部からの“おすみつき（評価）”を得ている

他者の取組み事例紹介 まとめ

社会課題への取組みのポイントを活かしたプロジェクト立案が必要

- ◆ 本業と親和性のある、もしくは本業を活かすことができる ●
- ◆ 社員が様々な形で参加できるメニューがある ■
- ◆ NPO・NGOを含む他セクターとの連携・協働して実施する ★



社員参加型	◆ <u>社員が気軽に参加</u>できるしくみ ■ ◆ 既にあるNPO・NGOのプログラムを活用 ★ ◆ 社員への社会貢献活動の理解促進・啓発の機会にも
寄付型	◆ <u>社員が主体的に</u>寄付先選定や委員会などを運営 ● ■ ◆ <u>手軽に寄付が出来る</u>システムの構築 ■ ◆ 社員だけでなく、会社からも同額を寄付 ◆ 寄付だけでなく、ボランティアなど<u>社員参加の場</u>にも ● ■
助成金型	◆ <u>その企業ならではの・だからこそ</u>支援する分野・テーマ ● ◆ 助成先NPO・NGOの活動に<u>社員が参加する機会</u>も ■ ◆ 長期的視野（インパクト視点）を持つ ◆ <u>外部の有識者・専門家と連携</u>し、公平性・透明性を担保 ★
プロボノ型	◆ 企業の<u>本業を活かし、社員の知識・スキルや経験を活かして</u>行う支援 ● ■ ◆ 社員の会社へのロイヤリティ向上 ◆ <u>将来のビジネスパートナー</u>としてNPO・NGOを捉える ★
事業型	◆ <u>社会課題の解決とビジネスの両立</u>を目指した事業 ● ◆ <u>多様なステークホルダーと連携</u>しながら実施している ★ ◆ 外部からの“<u>おすみつき（評価）</u>”を得ている ★

類型にこだわらず組み合わせることも可能

おわりに

- ・ 持続不可能な世界から持続可能な世界へ
- ・ SDGsの特徴
 - (1) ほぼすべての社会課題に対応
 - (2) 先進国も途上国も取り組む
 - (3) あらゆる関係者が取り組む
- ・ 社会貢献型支援 + 事業貢献型支援